

平成 15 年度石川県保育士試験問題

小 児 保 健 (その 1)

[解答は全て解答用紙に記入すること。]

- 1 小児の特徴を考慮した上で、WHO（世界保健機関）が定めるところの健康の定義に従って、小児が健康であるために小児に保障されるべきことは何かについて考えることを述べなさい。
- 2 大脳生理学的な発達の説明をもとに、子どもにおける遊びの様式が年齢によってどのように変化するのか、またその特徴について述べなさい。
- 3 「情動調律」、「こころの安全基地」の二つの言葉を用い、母子相互作用が築かれていくことに関して説明しなさい。
- 4 次の文章でアまたはイの正しいものを選択しなさい。
 - (1) 一般的には、精神的にまた運動面で機能的に成熟していくことを（ア．発育、イ．発達）という。
 - (2) Scammon の発育曲線によれば、乳幼児期にもっとも急速に発達を遂げるのは、{ア．一般型（体重、身長など）、イ．神経型}である。
 - (3) 発育評価において、（ア． 3パーセンタイル値未満または97パーセンタイル値以上、イ． 10パーセンタイル値未満または90パーセンタイル値以上）の場合は発育の偏りがあると考えが、安易に発育異常とすることには問題がある。
 - (4) 将来の肥満と関係が大きいのは、（ア． 乳児、イ． 幼児）期の肥満であるとされる説が多い。
 - (5) 発育には方向性の原則があり、代表的なものに {ア． 近遠方向（身体の中心部から遠い部分への発育）、イ． 遠近方向（身体の遠い部分から中心部への発育）} などがある。
- 5 次の文章のうち、正しいものには を、間違っているものには×をつけなさい。
 - (1) 乳歯の多くは、妊娠中期に形成を開始し、乳幼児期に石灰化が行われる。
 - (2) 虫歯は、ミュータンス連鎖球菌など虫歯菌による感染により引き起こされるものであり、特に36ヶ月までは口移しや、スプーン、玩具の共有を避けるべきである。
 - (3) 母乳中に分泌される免疫グロブリンIgGは乳児の感染症の予防に役立つ。
 - (4) 乳幼児の血圧は、一般に成人より低い。
 - (5) 単位体重当たりの体の水分量は年少なほど多いが、1日の尿量は成人に比べ少ない。
- 6 次の文章の括弧に、下記の語句群から適切な言葉を当てはめ、文章を完成しなさい。

（ア）頃までは、外部環境に作用されないフリーランといわれる状態で、授乳リズムで、寝たり起きたりを繰り返す。

（イ）頃からは、親の睡眠・覚醒リズムを見習うことで、昼夜の区別がつくようになってくる。（ウ）の外部環境の刺激による（エ）の確立は、（オ）頃である。（エ）は、視神経と関係した脳の部位に局在し、たとえば臓器の活動や神経機能、ホルモン分泌といった（カ）と深い関係にある。保育場面では、心身の健康を守る基本的習慣としての（カ）の確立のため、特に（キ）（ク）（ケ）のリズムを獲得させることが重要である。脳を活性化させ、子どもが生き生きと暮らせるためにも、今特に（コ）のとり方の問題が注目されている。

語句群（1回のみ使用のこと）				
新生児	生後2～3ヶ月	生後6ヶ月	生後8ヶ月	
1歳	2歳	気温差（暑い寒い）	明暗（明るい暗い）	
摂食（満腹と空腹）		生体リズム	体内時計	睡眠
排泄	食事	運動（身体活動）	入浴	朝食
昼食	間食	夕食		

受験番号

平成 15 年度石川県保育士試験問題

小 児 保 健 (その 2)

7. 次の組み合わせのうち、正しいものには、間違っているものには×をつけなさい。

- (1) レム睡眠 脳の眠り 成長ホルモン分泌
- (2) 生活習慣病 インシュリン依存型糖尿病 やせ
- (3) 咀嚼運動の開始 生後 6 ヶ月 固形食の開始
- (4) 膀胱括約筋のコントロール 1 歳 トイレトレーニング
- (5) 乳児 くる病対策 積極的な日光浴

8 次の指導のうち、正しいと思われるものには、間違っているものには×をつけ、それぞれその理由に関して簡単に述べなさい。

- (1) 夜尿がある場合は、眠っている場合でも、排尿の感覚を覚えさせるためにいったん起こしてトイレに連れて行く。
- (2) 2 歳までは、十分に汗をかかせる温度設定で育てることが重要である。
- (3) うまくボタンをかけられないが、時間をかければボタンをかけられそうな場合は、昼寝の時間に間に合わなくても手を出さずに見守る。
- (4) 虐待と思われる子どもの状態に気がついたときでも、親との信頼関係を壊さないことが重要なので、すぐには通告しなくても良い。
- (5) 誤嚥して気道が閉塞して呼吸していない場合、人工呼吸は無駄なので、救急車が到着するまで、心マッサージのみ続ける。

9 次の病態に当てはまる疾患名を書きなさい。

- (1) 空気感染の代表的なウイルス感染症で、伝染力、発病率はきわめて高い。発熱、コプリック斑、発疹が特徴的で、重症化する場合も多い。
- (2) 突然39～40 の発熱ではじまり、3～4日後に解熱し、同時に発疹がでる。特に生後6ヶ月～1歳に好発する。
- (3) 水疱性発疹が手掌、手背、足底、足背、下腿などにみられる。A群コクサッキーウイルス、エンテロウイルス感染により起こる。
- (4) 発熱、眼瞼結膜、扁桃、口腔粘膜の著明な発赤と充血が見られる。アデノウイルスによる感染症で、主に夏に流行する。
- (5) 莓状舌、発熱、発疹、扁桃炎などがみられ、感染後、急性糸球体腎炎やリウマチ熱の合併症に注意が必要である。最低10日の抗生物質の内服が必要である。

10 一般的な発達の指標として、次の記述で正しいものには、間違っているものには×をつけなさい。

- (1) 物に手を伸ばすようになるのは、3～4ヶ月である。
- (2) 寝返りができるのは、5～6ヶ月である。
- (3) 見せていたおもちゃを隠すと探すようになるのは5ヶ月である。
- (4) 示指と拇指でつまむ（ピンチ）ができるのは1歳前後である。
- (5) 四角をまねて書けるのは4歳くらいである。

受験番号